

## 1 概要

◆京都市消防活動総合センターは、「消防学校」、「訓練施設」、「活動支援施設」など、消防活動に必要な諸機能を統合・合理化して、平常時及び大規模災害時の双方に対応した消防活動拠点として整備され、平成21年4月に運用開始。

◆敷地内に、平成25年4月に京都市救急教育訓練センター併設、平成29年4月に京都府立消防学校を移転し、市と府による消防職員の共同教育を開始、平成30年10月に南消防署上鳥羽消防出張所を開設。

◆平常時は、消防職員、消防団員、自主防災組織の方々の教育や訓練を行う一方、大規模災害時には、「消防学校」が「作戦情報室」、「訓練施設」が「緊急消防援助隊集結場所」等として機能するなど、全国的な消防応援部隊である緊急消防援助隊の効率的な部隊運用が可能。

## 2 所在地

◆京都市消防活動総合センター(管理棟)  
〒601-8166 京都市南区上鳥羽塔ノ森下開ノ内94-4



平常時		大規模災害時	
活動支援施設	<ul style="list-style-type: none"> <li>●南部方面統括指揮隊、上鳥羽特別高度救助隊及び特別装備隊を配置し、24時間体制で運用</li> <li>●消防車両の点検整備</li> <li>●活動資器材の備蓄、燃料補給</li> </ul>	後方支援施設	<ul style="list-style-type: none"> <li>●緊急消防援助隊への活動資器材、燃料の補給</li> <li>●緊急消防援助隊の車両、活動資器材のメンテナンス</li> <li>●南部方面統括指揮隊、上鳥羽特別高度救助隊(本部救助隊)及び特別装備隊の運用</li> </ul>
消防学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>●新規採用職員の研修(全寮制)</li> <li>●消防職員の教育研修</li> <li>●消防団員の教育研修</li> <li>●火災調査、鑑識等</li> <li>●救急救命士養成教育</li> <li>●救急隊員資格取得教育</li> </ul>	作戦情報室	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「消防指令センター」と直結した緊急消防援助隊の指揮統制</li> <li>●消防機関、関係機関との情報連絡</li> <li>●緊急消防援助隊の受付・登録</li> <li>●緊急消防援助隊の待機、宿泊施設</li> </ul>
訓練施設	<ul style="list-style-type: none"> <li>●消防職員訓練</li> <li>●京町家や中高層建築物における火災や救助事故を想定した訓練</li> <li>●共同住宅や飲食店を模した訓練室での予防査察研修</li> <li>●消防団員訓練</li> <li>●操法訓練、訓練礼式等</li> <li>●自衛消防隊、自主防災会等の訓練</li> </ul>	緊急消防援助隊集結場所	<ul style="list-style-type: none"> <li>●緊急消防援助隊の車両集結場所</li> <li>●ヘリコプター緊急離着陸場</li> <li>●緊急消防援助隊の待機・宿泊施設</li> <li>●物資の応急集積</li> </ul>

## 3 熊本市消防局の現状と課題

◆熊本市消防局は、大規模災害時に対応できる活動拠点施設を有しておらず、現在西消防署移転事業において、熊本地震の教訓を生かし、大規模災害時に緊急消防援助隊等の受援及び活動拠点として有効活用できるよう、敷地及び訓練棟の検討を行っている。

◆移転先である西区池上の用地及び現状は、様々な制約がある中、通常の消防署としての機能と、有事の際に、効率的に敷地及び訓練棟を活用できる施設を求められている。

◆京都市消防活動総合センターは、規模は大きいですが、本市が目指す新西消防署の理想の体制であり、様々な諸課題を解決できる施設と思慮する。